

静岡県立吉原工業高等学校 スクールポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

吉原工業高等学校では、「一生モノの自分づくり」を掲げ、ものづくり教育に加え、キャリア教育や道徳教育を充実させることで社会人基礎力を醸成し、Society5.0に代表される変化の激しい社会に対応できる人材を育成します。

〈育成を目指す資質・能力〉 ～ 吉工GP7の達成 ～

- (1) 協働力：コミュニケーション力を身に付けたうえで、他者と協働し物事を成し遂げる力。
- (2) 行動力：自分の掲げる目標を達成するために主体的かつ計画的に実行する力。
- (3) 受信力・発信力：文章や話の内容を正しく理解する力。自分の意見を理解し易く伝える力。
- (4) 自己管理力：健康と安全を意識して行動する力。やるべきことを、やるべき時にやる力。
- (5) 技術力：学習した内容を用いて物づくりに活用する力。高度な資格を取得し自分の人生の糧とする力。
- (6) 職業人倫理観：職業的・社会的な秩序や規律に対して適切に対応していく力。
- (7) 進路学力：基礎基本の習得に加え、生徒個々で異なる進路目標を達成するための学力。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

吉原工業高等学校では、グラデュエーション・ポリシーの達成へ向け、以下の方針の基で教育課程を編成実施します。

- (1) キャリア教育や道徳教育を充実させ、主体的な学び及び対話的な学びへ向けた力を高める。
- (2) ICTの有効活用や対話的指導を充実させ、個別最適な学びを実現し個々の学びを深める。
- (3) 少人数教育や実習を通して、専門的な技術・技能・知識の定着と、これらを活用したものづくり実践から課題解決能力を高める。
- (4) 学校行事や部活動等を通じた人格形成や、実習等における協働意識を高める。
- (5) 多様な進路選択に向けて、業務に活用できる資格取得の機会を提供する。

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

吉原工業高等学校では、次のような生徒を求めています。

- (1) ものづくりに興味があり、工業各分野の専門的な教育に積極的に取り組める生徒。
- (2) 何事にも努力を惜しまない向上心があり、様々なことに挑戦し続ける意思がある生徒。
- (3) 自分のことだけでなく、他者を助け、協調することができる生徒。
- (4) ルールを守り社会人として必要なマナーを身に付けようと努める生徒。
- (5) 吉工での教育を通して「ものづくりマインド※1」を身に付け、「キャリアアンカー※2」を芽生えさせることで、多様な職業に対応可能な社会人基礎力を育成する意志がある生徒。

※1 ものづくりマインド：SMS教育の実践により身に付ける「ものづくりマインド」は、工業以外の様々な職業でも活かせる。※吉工定義
・センス（S）：多感で柔軟性のある高校時代に工業教育で体験的に学んだことは体に染みつく。染みついたことは、実際にそれが求められる場面になると、直感で理解し行動できるというセンスとなる。このセンスは工業分野以外の多様な職業でも活かせる。
・マナー（M）：5S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」）の徹底、技術者倫理（法令や企画書を遵守したものづくり）、道具や材料の特性に配慮する気配り等、技術・技能者として身に付けたマナーは、社会全般に通用するマナーでもある。
・スピリット（S）：ものづくりや研究を通してチャレンジ精神や努力する心を身に付ける。そのスピリットは人生の様々な場面で活かせる。

※2 キャリアアンカー：その人の職業人生における根っこのような核となるもの。※吉工定義

・困難な事態に直面したときに、「自分にはこれがあるから大丈夫」と思えるものを「キャリアアンカー」として芽生えさせる。